

令和6年度
第1回岡山市文化芸術推進会議における主な意見

- 1 日 時 令和6年4月22日（月） 10時00分から11時40分まで
- 2 場 所 旧岡山市民会館 203会議室
- 3 出席者 委員 8名
有識者 1名
- 4 傍 聴 なし
- 5 議 題 岡山市民会館のメモリアルについて
- 6 主な意見等

○解体にあたって保存すべき岡山市民会館の資材について

- ・モザイクガラスは思い入れのある人が多い。何らかの形で残してほしい。
- ・中空ブロックも保存できるのであれば、一部残しておけば利用できるのでは。
- ・壁画は壁なので残すことが難しく、またその後の設置場所も問題。

○ソフト面でのメモリアルの保存

- ・冊子もよいが、建築物の雰囲気を感じられる映像を残してはどうか。
- ・岡山市民会館についての解説を音声で残してもよいのでは。

○今後の活用について

- ・ホールの椅子や楽屋のセット、緞帳、消耗品など、廃材を使いたい人や欲しい人が次に活用できる方法はないか。
- ・跡地が公園になるのであれば、そこに整備する誰もが利用する空間、例えばトイレのようなどころにモザイクガラスや中空ブロックを使用すれば、岡山市民会館の雰囲気を残すことができるのでは。
- ・市民会館の八角形の形は新たに整備するものなどに取り入れることは可能だが、八角形＝市民会館と連想しにくいのでは。
- ・跡地の活用について、周囲にある施設との連携性を視野に入れて、岡山城からここを通じて周囲の美術館、博物館への流れができるよう考えてほしい。まちづくり全体でみることで地域活性化には不可欠。

(事務局)

旧岡山市民会館のもので市の施設等で再利用できるものは積極的に活用していく。また、メモリアルについては、本日いただいた意見をもとに技術的に可能か関係課と調整しながら、できることを検討する。